

令和4年度（2022年度）行政評価シート【個表】

令和 4 年 6 月 3 日

評価対象事業		評価者	みどり公園課長	秋山 崇
都景-11	緑化啓発事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	みどり公園課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	みどり	施策の方針	緑の保全等

1 事業の目的

対象	市民等
意図	緑の基本計画の周知を図り、市民と連携して緑の環境づくりを推進するため。
効果	緑地等の保全、管理活動を市民と連携して推進し、市域全体を緑豊かにすることにより、これまで確保してきた緑地や都市公園等の機能を高める。

2 令和3年度(2021年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> <li>市民との連携による緑の環境づくりを推進するため、緑のレンジャー等の緑化啓発事業に関する業務を委託した。</li> <li>緑の学校及び緑のレンジャー(ジュニア)が実施できない中、予算の支出が伴わない範囲で効果的な啓発イベントの実施を検討し、まち歩きイベントを企画した。</li> <li>敷地が道路に接する部分を新たに緑化する者に補助金を交付した。</li> </ul>
--

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和3年度		令和4年度		達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)		指標(目標値) 予算額(千円)		
01	緑化啓発事業	緑化啓発に関する業務委託料	緑の学校、緑のレンジャーの受講者数(人)	15 / 30 1,650 / 1,650		30 1,699	50.0%	
02	「みんなで考えようかまぐらの緑」ポスターコンクール事業	ポスターコンクール優秀賞等報償費	-	- / - 0 / 0		- 0		
03	鎌倉市緑化まつり事業	鎌倉市緑化まつり事業負担金	-	- / - 0 / 0		- 0		
04	まち並みのみどりの奨励事業	まち並みのみどりの奨励金	まち並みのみどりの奨励事業による接道緑化の延長(m)	77.43 / 100.00 501 / 2,173		100.00 2,189	77.4%	
05				/				
06				/				
07				/				
08				/				
09				/				
10				/				
		財源内訳	国県支出金	0 / 0		0		
			地方債	0 / 0		0		
			その他特定財源	0 / 0		0		
			一般財源	2,151 / 3,823		3,888		
			事業費の合計(千円)	2,151 / 3,823		3,888		
			人件費(千円)		10,622	10,760		

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.4	1.4	1.4			
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0			

## 5 評価結果

### (1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	緑化啓発事業	緑のレンジャーシニア講座の募集上限人数30名に対し、応募者数が半数の15人であった。	目標とするまちの姿を、市街地の緑を維持管理する担い手の育成が継続的に行われるとしており、これに沿った取り組みとなっている。	緑のレンジャー講座について効果的な募集方法により広く周知を図る。 新型コロナウイルス感染症の拡大による財政状況の悪化に伴い予算が削られており、緑のレンジャーシニア及び緑の学校の事業実施ができなくなっている。 今後、歳出を伴わない範囲で代替事業を実施する等、引き続き市民や企業等とともに緑に関する活動ができる仕組みづくりを行っていく。
02	「みんなで考えようかまぐらの緑」ポスターコンクール事業	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う全庁的な対応により事業中止となったため、目標値を設定していない。	目標とするまちの姿を、市街地の緑について市民の自発的な活動が行われているとしており、これに沿った取り組みとなっている。	新型コロナウイルス感染症の拡大による財政状況の悪化に伴い予算が削られており、これまでどおりの事業実施ができなくなっている。 今後、歳出を伴わない範囲で代替事業を実施する等、引き続き市民や企業等とともに緑に関する活動ができる仕組みづくりを行っていく。
03	鎌倉市緑化まつり事業	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う全庁的な対応により事業中止となったため、目標値を設定していない。	目標とするまちの姿を、市街地の緑について市民の自発的な活動が行われているとしており、これに沿った取り組みとなっている。	新型コロナウイルス感染症の拡大による財政状況の悪化に伴い予算が削られており、これまでどおりの事業実施ができなくなっている。 今後、歳出を伴わない範囲で代替事業を実施する等、引き続き市民や企業等とともに緑に関する活動ができる仕組みづくりを行っていく。
04	まち並みのみどりの奨励事業	目標値に対して約80%の達成率となった。 前年度の実績数値から、半減した。	目標とするまちの姿を、市街地の緑について市民の自発的な活動が行われているとしており、これに沿った取り組みとなっている。	防災・減災機能や環境負荷軽減に寄与する市街地の緑の役割について知識の普及を図ると共に、当該事業の周知を図る。
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

**(2) 視点別評価**

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない	
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	1 実施済み	
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない	
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある	
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない	
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である	
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-2 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済	○-2 市民等と協働して適切に事業を実施している
協働		協働実施済の場合のパートナー	NPO法人 鎌倉みどりのレンジャー

**(3) 総合評価** ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・変更 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
・まち並みのみどりの奨励事業の申請に対しては、例年希望者が多くあり、環境や防災機能の向上のためにも、市街地の緑を増やす取組を引き続き実施していく。 ・緑のレンジャー等の講習会については、参加者数は一定数以上いることから、例年変わらないニーズがあり、緑の維持管理の担い手を育成するため、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により縮小している事業は再開に向けてため、事業を拡充する。 ・緑化まつり及びびposterコンクールについては、歳出の無い範囲で実施を検討することとし、事業内容の改善の方針とする。	

**【参考】**

**◎事業実施に係る主な指標**

指標(単位)	緑の学校、緑のレンジャーの受講者数						単位	人
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
緑化啓発の推進のため	目標値	110	30	30	30	30	30	
	実績値	0	15					
	達成率	-	50.0%					

指標(単位)	まち並みのみどりの奨励事業による接道緑化の延長						単位	m
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
接道緑化推進のため	目標値	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
	実績値	188.54	77.43					
	達成率	188.5%	77.4%					

**◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)**

比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	
----------------------	--